

■みんなで楽しむ流しそうめん

あるある巡回講座の「流しそうめん」が8月4日、英比小学校で行われました。参加した45人の子どもたちは3グループに分かれ、交代で中庭に準備された青竹のといに沿って整列。流れてくる麺やゼリー、野菜を箸ですくい、「冷たくておいしい」「色んな物が流れてきておもしろい」と笑顔でほおぼっていました。



主な内容

- ②～③ 粗大ごみの収集
決められた日に収集場所へ出してください。
- ④ページ 9月10日は「下水道の日」
下水道の役割と正しい使い方についてのお知らせです。
- ⑤ページ 生きがい教室・講座
皆さんの生涯学習を支援する教室・講座のお知らせです。
- ⑭ページ 阿久比谷虫供養
今年は9月22日に横松地区の横松交差点南西角で開かれます。



ルールを守ってきれいなまちに!! 粗大ごみを収集します

年2回(9月・3月)の収集です。必ず決められた日に出してください。

※ 萩地区は9月17日(土)へ収集日のグループを変更しました。
ご注意ください。

収集場所および収集日

地区名	収集場所	収集日	地区名	収集場所	収集日	地区名	収集場所	収集日
板山	旧農業倉庫前	9月10日 (土)	横松	公民館	9月17日 (土)	白沢	青年会場	9月24日 (土)
福住	老人憩の家		萩	老人憩の家		白沢台	中央公園	
福住園高台	西公園		宮津	公民館		日生	西収集所	
高根台	西公園西		宮津団地	加藤連合駐車場		草木	公民館	
坂部	焼山池北		宮津山田	山田池北側堤				
卯之山	児童館		陽なたの丘	集会場				
阿久比団地	南風公園		矢口	公民館				
阿久比	公会堂		高岡	老人憩の家				
棕岡	防災倉庫東		植	公民館				
メイツ巽ヶ丘	収集所		大古根	山車収納庫				

※ 収集時間は、前日の午後4時～午後11時、当日の日の出～午前9時です。時間を守って出してください。

👉 収集できる粗大ごみなどについては、次ページをご覧ください。

ごみ減量化のため、粗大ごみの再利用をお願いします!!

まだ使うことができる不要品(粗大ごみ)を、希望する方にお渡しし、再利用してもらうことができます。

粗大ごみ収集場所内に区分を設けます。

再利用してもらいたい方

“再利用を希望する場所”に置いてください。監視員が“再利用シール”を貼ります。

再利用してほしくない方

監視員の確認を受けてから“再利用を希望しない場所”に置いてください。

再利用することを希望する方

- ①監視員に申し出てください。
- ②監視員が「再利用申込書」を渡しますので、必要事項を記入して提出してください。
- ③希望したものを受け取ってください。ただし、受け取ることができるのは一世帯当たり2点までとなります。

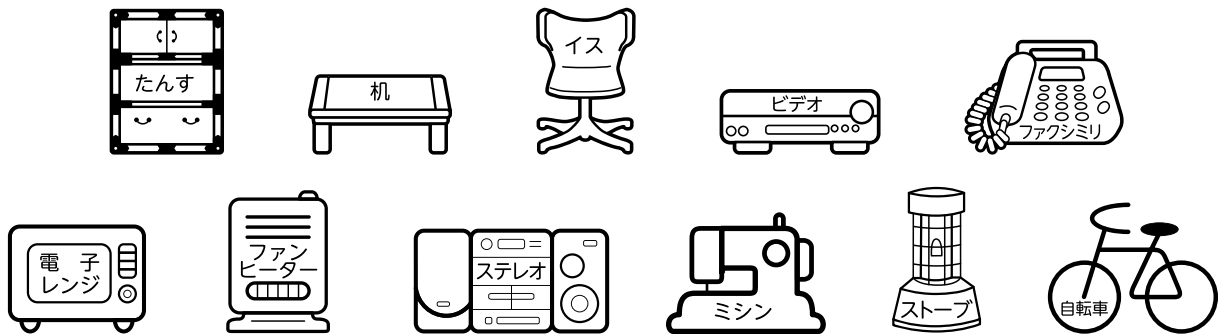
※ 収集場所では監視員の指示に従ってください。

※ 自転車は防犯登録がされているため、再利用できません。

収集できる主な粗大ごみ

主な品目	出し方
①家具類:たんす、机、イス、ベッド(スプリング入りのマットレスは除く)、じゅうたんなど ②家電製品:ビデオ、ステレオ、ファンヒーター、電子レンジ、ミシン、ファクシミリなど ③その他:自転車、ベビーカー、ストーブ、大型のおもちゃ、物干し竿など	◎ストーブ・ファンヒーターは油を抜いてから出してください。 ◎電池は必ず外し、指定場所へ出してください。 ◎引っ越しごみなど多量の場合は、東部知多クリーンセンターへ直接搬入してください。 ◎電気コードはひもなどでまとめて出してください。 ◎収集できない粗大ごみ(下表)は絶対に出さないでください。

※ ②の品目は使用済小型電子機器として、毎月第1・第3土曜日にオアシスセンター駐車場でも回収しています。



収集できない粗大ごみ

品目	処理の方法
事業系ごみ 産業廃棄物	◎事業活動(会社・商店・工場・飲食店・土木建築作業・農業など)に伴い発生したごみ ※ 町が収集するのは、日常生活から出てくる「家庭系ごみ」に限ります。
処理困難物 (東部知多クリーンセンターで処理できないごみ)	◎タイヤ◎消火器◎耕うん機などの農機具◎プロパンガスボンベ◎バッテリー◎スプリング入りのマットレス◎自動車部品◎大型木材(長さ2m、太さ20cm以上のもの)◎ブロックなどの建築廃材(事業者が出す場合は産業廃棄物になります。)◎塗料・薬品などの液体
家電リサイクル	◎テレビ◎エアコン◎冷蔵庫◎冷凍庫◎冷温庫◎洗濯機(乾燥機含む)
パソコンリサイクル	◎デスクトップパソコン本体◎ノートパソコン◎ディスプレイ◎ディスプレイ一体型パソコン ※ プリンタなどの周辺機器は粗大ごみとして収集します。
二輪車リサイクル	◎オートバイ(スクーター含む)

- ※ 上記の収集できない粗大ごみを出そうとしたときは、持ち帰っていただきます。
- ※ 収集場所では、監視員が警備しますので、監視員の指示に従ってください。
- ※ 処理の依頼先などが分からないときは、建設環境課までお問い合わせください。

■ 問い合わせ先 建設環境課環境係 ☎(48)1111(内1211・1212)

町の補助制度を活用して 宮津地区が防犯カメラを設置

町では、本年度から大字や自治会の防犯カメラ設置に対して補助金を交付しています。今回、初めてその補助金を活用し、宮津地区が宮津公民館の駐車場に防犯カメラを設置しました。

防犯カメラは、地域の皆さんに協力していただいている自主防犯パトロールとともに犯罪抑止に大きな効果を上げています。

今後も大字や自治会の防犯カメラ設置に対して補助を行っていきます。設置を予定される場合は、ぜひこの制度をご活用ください。

■問い合わせ先

防災交通課交通係 ☎(48)1111 (内1210)



10月1日は 「法の日」

裁判所、法務省、検察庁および弁護士会では、10月1日からの1週間を「法の日」週間として、講演会や法廷見学会など各種行事を行います。

詳細については、ホームページ (<http://www.courts.go.jp/>) をご覧ください。

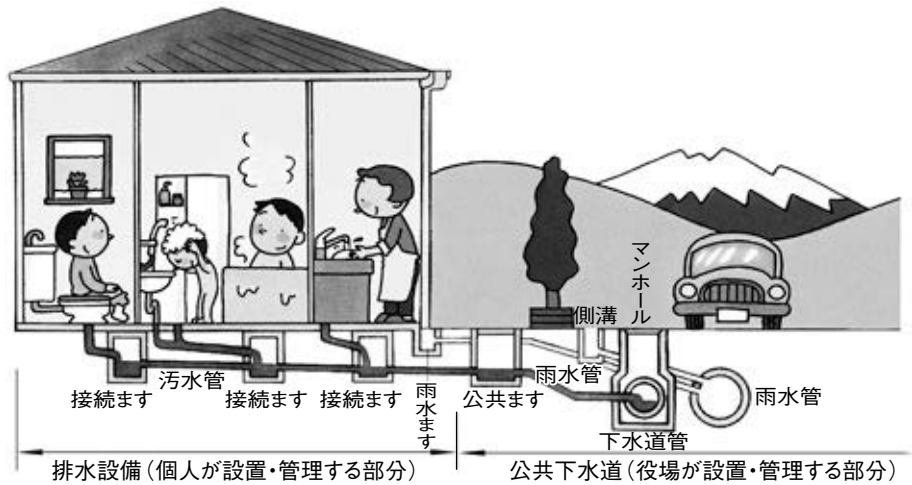
■問い合わせ先

名古屋家庭裁判所事務局
総務課

☎052(223)3411

9月10日は「下水道の日」です

下水道は、私たちの生活に欠かせないものです。そんな下水道の役割と正しい使い方についてお知らせします。



■下水道の役割

- ▽トイレの水洗化など、清潔で快適な生活環境を確保します。
- ▽悪臭や蚊、ハエなどの発生を防ぎ、街を快適で清潔にします。
- ▽下水を処理し、きれいにした水を放流することで、川や海の水質を守ります。

■下水道の正しい使い方

- ▽台所では、残飯や野菜くずを流さないでください。下水道管の詰まりや悪臭の原因となります。
- ▽てんぷら油などの廃油を流すと、冷えて固まり下水道管が詰まる原因となります。フライパンなどの汚れはふき取ってから洗ってください。
- ▽水洗トイレには、専用のトイレットペーパー以

外のものを流さないでください。便器や下水道管が詰まる原因になります。

- ▽シンナーやガソリンなどの揮発性の高い危険物を流すと下水道管の中で爆発したり、下水道管を損傷したりします。絶対に流さないでください。

■公共下水道に接続する場合には

阿久比町では現在、東部、植大、高根台、棕岡、阿久比、卯之山、坂部、白沢、草木の各処理分区で下水道に接続できます。排水設備工事を行う際は、直接阿久比町下水道指定工事店に依頼してください。下水道指定工事店一覧は町ホームページをご覧ください。

■問い合わせ先

上下水道課下水道係 ☎(48)1111 (内1218)

まちの話題

Topics of a town

小・中学生と高校生のボランティア活動や職場体験

夏休みを利用して、小・中学生と阿久比高校生が町内の各保育園などを訪れ、ボランティア活動や職場体験に励みました。

児童や生徒たちは、園児たちとプール遊びなどで楽しく遊んだり、水やりや読み聞かせなど保育士の手伝いをしたりしました。ボランティアの高校生は「園児たちの元気さに驚いています。楽しいけれど、くたくたです」と充実した表情で話しました。

英比小学校のプールでは、阿久比高校の水泳部員がボランティアで、もちの木園を利用する皆さんに泳ぎ方などを教えました。部員たちは、利用者が安心して顔をつけたり泳いだりできるように、「その調子です」「うまいですね」など励ましの言葉をかけていました。



優しく泳ぎを教える高校生



職場体験をする中学生



園児と水遊びをする高校生



水やりの手伝いをする小学生

●安全・安心を守る協定を結ぶ



〈町長と握手を交わす半田郵便局長〉

阿久比町と日本郵便株式会社半田郵便局が8月2日、「高齢者等見守り活動事業に関する協定」を締結しました。この協定は、郵便配達員が業務中に郵便物がたまっているといった世帯の異変や、徘徊（はいかい）している高齢者に気付いたときに町や関係機関に連絡するというものです。

協定締結に当たり、「行政や地域の皆さんあつての郵便業務。今回の見守りサービスにより、少しでも地域に恩返しをしていきたい」と話す古田半田郵便局長に、町長は「高齢者の見守り態勢の充実が図られ、町民の安全・安心が確保されることは大変ありがたい」と感謝を伝えました。

●親子で紙工作に挑戦



〈鈴木先生に教えてもらいながら作業する参加者たち〉

町立図書館で7月30日と31日、カッターナイフや接着剤を使って、キャラクターや動物などのペーパークラフトを作り上げる「夏休み紙工作講座」がありました。毎年、石本憲司さんと鈴木はじめさんが行う人気講座で、約150人の親子が参加しました。参加者たちは、紙の切り方のポイントなどを習った後、早速、東京スカイツリーや動物など好きなものが印刷された厚紙を選び、作品作りに挑戦。子どもはもちろん大人も熱中し、あっという間の1時間半でした。参加した子どもは「難しかったけれど、楽しかった。家でも続きをやりたい」と声を弾ませていました。

オアシススケッチ

Oasis sketch

●全国大会で目指す自己ベスト



〈町長に予選の様子などを話す磯部さん〉

平成28年度全国中学校体育大会・第43回全日本中学校陸上競技選手権大会（8月21日～24日、長野県松本市で開催）の男子400メートルに出場する阿久比中学校陸上部3年の磯部拓さんが8月5日、町長に全国大会出場を報告しました。

磯部さんは7月27日・28日に名古屋市で行われた第70回愛知県中学校総合体育大会陸上競技の予選で、全国大会標準記録51秒70を上回る51秒55を記録し、全国大会への出場を決めました。大会に向けて磯部さんは「リラックスして大会に臨みたい。ベストを尽くして、自己新記録を出したい」と決意を述べました。

●かかしをみんなで作ったよ



〈協力してかかしを作るお年寄りと園児〉

英比保育園で8月3日、年長児54人が坂部地区のお年寄りと一緒にかかし作りをしました。園児たちが手作りした頭や手、体などを組んで作ったかかしは、町マスコットキャラクターのアグピーやてんぐなど5種類。出来上がったおよそ2メートルのかかしを見上げて、園児は「難しかったけど、上手に作れたよ。しっかり鳥を追い払ってくれるといいな」と話しました。園児たちは他にも、余った竹を使ってお年寄りと一緒に豆鉄砲や水鉄砲作りも楽しみました。完成したかかしは、保育園前の田んぼの土手に立てられ、大切なお米を守っています。ぜひご覧ください。



魚捕りを楽しむ参加者たち

●大人も子どもも魚捕りに熱中

わくわくコラボ事業として草木川環境保全グループが行う魚捕りイベントが7月30日、子ども会やPTA、草木みどりサミットの協力を得て草木川で行われ、地域の子どもやその保護者など約150人が参加しました。強い日差しが照りつける中、友達や保護者などと網を手に土手の下などに潜む魚を夢中で探す子どもたち。苦勞して、フナやドジョウなどを捕まえると、大喜びしていました。



町長室を訪れた篠倉さん（右）と山本さん（左）

●ヨット競技で全国大会

半田高校1年の篠倉なつみさん（白沢台）と山本茜さん（板山）が、平成28年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会・第57回全国高等学校ヨット選手権大会（8月12日～16日、和歌山県和歌山市で開催）の女子FJ級に出場します。今回は控え選手としての出場ですが、「先輩たちのサポートをしっかりしたい。来年に向けてしっかり大会の雰囲気を感じたい」と抱負を語りました。



麻薬探知犬のデモンストラーションの見学

●人気のセントレアサマースクール

知多半島5市5町の小学3・4年生の児童とその保護者を対象にした「セントレア親子サマースクール」が、中部国際空港（セントレア）で開催されました。阿久比町からは8月2日に抽選で選ばれた親子20組40人が参加しました。参加者は、飛行機の仕組みや税関についての寸劇、制限エリアの見学、麻薬探知犬のデモンストラーションなどを通して、空港への親しみや理解を深めました。

防災への意識改革 vol.280

⚡ 防災行政無線の情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は、☎(48)7030で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。

≫ 避難所体験事業が行われました ≪

災害や避難所について学ぶ避難所体験事業「防災ナイトスクール」と「避難所キャンプに参加しよう」が、7月23日と24日に英比小学校で開催されました。事業の一部を紹介します。

～防災ナイトスクール～

【非常持ち出し袋の点検】



指導者の非常持ち出し袋の自身を紹介しました。年齢に合った袋の重量の説明もありました。

【防災マップの説明】



役場職員が防災マップの説明をし、参加者と避難所・避難場所の確認を行いました。その後、防災について学ぶ〇×クイズをしました。

【炊き出しご飯の試食】



町赤十字奉仕団が、ハイゼックスや Hanson といった炊き出しで使う道具で調理したカレーライスの試食を行いました。

【防災講話「家族と学ぶ防災」】



近藤ひろ子先生の講演があり、防災について必要な知識や地震が起きた時に取るべき行動、避難生活で起こる問題などを学びました。

～避難所キャンプ～

【避難所用間仕切りモデル組立実演】



宿泊体験をする参加者は、「防災ボランティアあぐい」の指導を受け、プライベート空間を確保するための段ボール間仕切りで壁を作りました。

【避難所となる学校体育館に宿泊】

午後10時ごろ就寝。床は板張りで固く、多くの参加者が寝付くまで時間がかかり、熟睡できなかったようです。

【朝食としての保存食準備・試食】

起床後、参加者は朝食として、お湯を入れて作る保存食の準備をしました。でき上がるま

での時間を使ってラジオ体操を行い、固くなった体をほぐしました。

【発電機始動体験と放水体験】



各小学校の防災倉庫にある発電機の使い方を習い、始動体験を行いました。半田消防署阿久比支署の協力を得て、放水体験も行いました。

【参加者の声】

▽避難所は暑いうえ、足音や物音、床の硬さなどで心が休まる場所ではないことがよく分かりました。

▽実際の避難所は、もっと大変だと思います。今回少しでも、体験できて良かったです。

【事業を終えて】

大規模災害時には、避難所を避難者自ら運営することになるかもしれません。もしもの時に備え、防災のイベントや訓練に積極的に参加し、自身の防災力を高めましょう。



「住民税1%町民予算枠制度」わくわくアイデア・コラボ事業

全国へ発信211

幼・保・小・中 一貫教育プロジェクト

平成28年度阿久比町教育指針を策定

学校、家庭、地域と行政が協働し、阿久比の宝である子どもたちへの教育を充実させるために「阿久比町教育指針」を策定しました。今回は、阿久比町教育基本的理念と学校教育についてご紹介します。

◎阿久比町教育基本的理念

学力・学習意欲の低下、規範意識の欠如、心の揺れや荒れ、そして依然として憂慮すべき状況にあるいじめ・不登校など、園・学校を取り巻く教育課題は山積している。これらを解決していくには、一つ一つの課題に真正面から向き合い、園・学校、家庭、地域が協働体となって、大人が真摯な態度で取り組まなければならない。

「指導者として、一人の人間として、同じ人間である幼児・児童・生徒と四つに組んで導いていく（本物を語り、未来を語り、夢を語る）」ことがキープポイントとなる。これからの社会を担う心豊かでたくましい人間の育成のため、阿久比町全体が、子どもの「学舎（まなびや）」であり、関わる全ての大人が指導者であるという意識をもつことが重要である。

学校を地域の拠点としながらも、学校の独自性を認め、学校自らの考えと決定で実践できる体制を確立せねばならない。そして教育委員会は、それを支援する立場であることを再確認したい。

◎具体的な方策＜平成28年度のテーマ＞

地域の人材を学舎に、全ての大人が指導者に 「あなたの力を子どものために」

◇学校教育

幼保小中一貫教育の推進のためには、人的・物的環境の整備充実を図ること以外に道はない。「幼保小中一貫教育は阿久比の未来」「四方よし」を合言葉に「教育のまち 阿久比」「読書のまち 阿久比」を創らなければならない。

「四方よし」 子どもよし：人としての基礎・基本の定着と学力の向上
保護者よし：阿久比町幼保小中一貫教育の理解促進と家庭教育の充実
地域よし：地域による学校支援の充実と地域の教育力の向上
園学校よし：教員・保育士の力量向上



(1) 学校教育

ア 学習指導要領への対応

- ▽授業時間数の確保、知識技能の習得と活用による思考力・判断力・表現力の向上
- ▽言語活動、道徳教育、外国語教育、キャリア教育等の充実

イ 幼保小中一貫教育の推進

- ▽幼保と小、小と中の指導内容・指導方法に関わるつながり・接続（縦系）の再点検、保護者・地域や行政との連携（横系）の強化
- ▽部会方針の実現（学力向上、保護者参加、学校支援の充実）
- ▽広報・ホームページなどによる一貫教育の啓発と家庭・地域との連携強化
- ▽幼保小中一貫教育実践発表会の開催、「あぐい教育週間」における公開の実施

ウ 教員の力量向上

- ▽各校の現職教育による教員一人一人の授業力向上
- ▽小中学校少経験教員を対象とした研修会「若い衆研修会」の実施
- ▽学校教育指導員による少経験教員への指導の充実

エ 開かれた学校の推進（家庭・地域、行政との連携強化）

- ▽「おらが学校応援団」の推進（保護者や地域住民によるボランティア）
- ▽見守り隊・子ども110番の家との連携、PTA活動の充実
- ▽健康教育（望ましい生活習慣の定着）・情報モラル教育（ネットいじめ、有害サイト被害防止）の充実と保護者の意識啓発
- ▽教育相談センターとの連携（家庭教育相談活動、いじめ・不登校防止）

(2) 食育・給食

ア 食に関わる指導の推進

- ▽栄養教諭、学校栄養職員の食に関する指導
- ▽日常の給食指導での感謝の心の醸成
- ▽教職員と保護者との連携による食事マナーの定着

イ 安全でおいしい給食の提供

- ▽栄養バランスのよい献立の作成
- ▽衛生管理の徹底と地産地消の推進

阿久比町のオアシス 文化の泉

絵画や彫刻など、町民の皆さんの力作を掲載する“阿久比町のオアシス 文化の泉”。掲載作品は庁舎などで展示も行います。次号に掲載する作品を募集しています。阿久比町在住・在勤の方であればどなたでも応募できます。どしどしご応募ください。

■応募方法 掲載してほしい作品などを中央公民館窓口までお持ちください。(選考は社会教育課で行います。)

■応募・問い合わせ先 社会教育課公民館係
☎(48)1111 (内1501)

■絵手紙



「市町の木」 石橋安男さん

■パステル画



「朝霧高原」 塩谷紀明さん

展示期間 9月1日(木)～15日(木)
庁舎1階ロビーにて展示します。

■コルクボード絵



「ぶどうとゴリラ」 兼田史恵さん

■和布手芸



竹内恵理子さん

■貼り絵



竹内 修さん

お知らせ

Information

●第2回子ども用品リユース市を開催

子どもの成長に伴い使わなくなった衣類やおもちゃなどの子ども用品を、無料で配布するリユース市を開催します。

■日時 9月16日(金)午前11時～正午(大型用品の抽選は午前11時30分から行います。)

■場所 勤労福祉センター(エスペランス丸山)

[用品提供のお願い]

次回のリユース市に提供いただける子ども用品を、開催当日に会場でお預かりします。役場、保健センター、子育て支援センター(あぐびっぴ)、卯ノ山児童館、町内各保育園、ほくぶ幼稚園でもリユースボックスを置き、随時回収しています。ご協力お願いします。

問い合わせ先

子育て支援課子育て支援係
☎(48)1111(内1124)

●神経系難病患者・家族教室を開催

神経系難病で療養されている患者さんが快適に在宅療養を送るための教室を開催します。

■日時・内容・対象

▽(第1回)10月11日(火)午前10時～正午・河村聡枝さん(笑い体操管理士)による講演「“笑い”によるリフレッシュ」と交流会・神経系難病の患者と家族

▽(第2回)10月18日(火)午後1時30分～午後3時30分・米山典孝さん(神経内科医師)による講演「脊髄小脳変性症と多系統萎縮症について一病気の理解と療養生活のポイント」・脊髄小脳変性症または多系統萎縮症の患者と家族

■場所

半田保健所(半田市出口町)

■申し込み方法 電話で申し込んでください。

■申込期限

▽(第1回)10月4日(火)

▽(第2回)10月11日(火)

申し込み・問い合わせ先

半田保健所健康支援課難病担当
☎(21)3354

●自衛官採用説明会を開催

■日時

9月28日(水)、10月12日(水)、26日(水)午後5時～午後7時

■会場

自衛隊愛知地方協力本部半田地域事務所(半田市宮路町)

■採用種目

▽防衛医科大学校医学科学生(自衛隊の幹部医師を目指します。)

▽防衛医科大学校看護学科学生(自衛隊の看護師、保健師を目指します。)

▽防衛大学校学生(自衛隊を動かす幹部を目指します。)

▽航空学生(航空機パイロットを目指します。)

▽一般曹候補生(チームリーダーを目指します。)

▽自衛官候補生(第一線での活躍を目指します。)

■受験資格(年齢は平成29年4月1日現在のものになります。)

【防衛医科大学校医学科学生、防衛医科大学校看護学科学生、防衛大学校学生、航空学生】

21歳未満で高校を卒業した方(平成30年3月卒業見込みの方を含む)

【一般曹候補生、自衛官候補生】
18歳以上27歳未満の方

問い合わせ先

自衛隊愛知地方協力本部半田地域事務所 ☎(21)0004

●環境衛生週間のポスターを展示

9月24日(土)の「清掃の日」から10月1日(土)の「浄化槽の日」までは、「環境衛生週間」です。

東部知多衛生組合管内(大府市、豊明市、東浦町、阿久比町)の小学4年生から募集したポスターの優秀作品を展示します。ぜひご覧ください。

■展示場所 東部知多温水プール2階ロビー(大府市大東町)

■展示期間 9月17日(土)～10月10日(月・祝)

問い合わせ先

東部知多浄化センター
☎0562(83)3300

今年もやっぱり「緑のカーテン！」⑤

厳しい暑さが続いています。皆さんの緑のカーテンは頑張っていますか。私が育てている緑のカーテンは暑さに負けず元気いっぱいです。

アサガオはまだまだ元気で、きれいな花をたくさん咲かせています。ゴーヤの成長は鈍くなりましたが、その分、実に栄養を蓄えているようです。とりわけ大きく成長している実が2つあり、収穫が楽しみです。プチトマトの「アイコ」は、減りつつありますが、甘い実をつけてくれています。

まだまだ、緑のカーテンの力を借りながら、暑さを乗り切りたいと思います。

■問い合わせ先 建設環境課環境係 ☎(48)1111(内1212)



お知らせ

Information

●水泳教室を開催

健康増進に役立てていただくために水泳教室を開催します。

- 開催時期 9月21日(水)～11月11日(金)の1回1時間(全8回)
- 対象 幼児、小学生、成人女性など(全10教室)
- 定員 各教室30人(先着順)
- 受講料 5,000円
- 申し込み方法 東部知多温水プールに備え付けの受講申込書で申し込んでください。(電話で申し込みはできません。申込書はホームページからダウンロードすることもできます。)
- 受付期間 9月12日(月)～18日(日)(9月12日(月)は午前10時～午前11時30分)

申し込み・問い合わせ先

東部知多温水プール水泳担当
☎0562(44)3331
ホームページ
<http://www.tobuchita.jp/>

●町民体育祭卓球大会を開催

- 日時 10月23日(日)午前9時～
- 場所 阿久比中学校アザレアホール
- 対象 町内在住・在勤の一般男女
- 種目 個人戦シングルス・団体戦
- 料金 無料

今月の納税など

- 国民健康保険税 2期分
- 介護保険料 2期分
- 後期高齢者医療保険料 3期分
- 公共下水道事業受益者負担金 2期分

納期限は**9月30日(金)**です。

※口座振替の方は、口座の残高確認をお願いします。

9月9日「救急の日」 9月4日(日)～10日(土)「救急医療週間」

「救うのは、勇気という名の、バトンパス」

▽応急手当を覚えましょう!

救命のためには、病気やけがをした人のそばに居合わせた、皆さんが「救命のリレー」の第一走者として、行動することが大切です。

知多中部広域事務組合消防本部では、皆さんに救命の知識や技能を身に付けてもらえるよう定期的に「救命講習」を開催しています。詳細はホームページ(<http://www.cac-net.ne.jp/~chitachu/>)で確認してください。皆さんの参加をお待ちしています。

■問い合わせ先

知多中部広域事務組合消防本部半田消防署阿久比支署 ☎(47)0119

救命講習を開催

普通救命講習Ⅰ

成人に対する心肺蘇生法、AED(電気ショックをかける機器)の使い方、止血方法などを学びます。

(東浦支署会場)

■日時・場所・定員 10月16日(日)午前9時～正午・半田消防署東浦支署・20人(先着順)

■申し込み・問い合わせ先
半田消防署東浦支署

☎0562(83)0119

(半田消防署会場)

■日時・場所・定員 10月23日(日)・午前9時～正午・半田消防署3階講堂・20人(先着順)

■申し込み・問い合わせ先
半田消防署 ☎(21)1492

救命入門コース

90分の短縮講習会です。胸骨圧迫(心臓マッサージ)の方法とAED(電気ショックをかける機器)の使い方を学びます。小学4年生以上が対象です

(半田消防署会場)

■日時・場所・定員 10月6日(木)・午後1時30分～午後3時・半田消防署3階講堂・20人(先着順)

■申し込み・問い合わせ先
半田消防署 ☎(21)1492

(阿久比支署会場)

■日時・場所・定員 10月30日(日)午前9時～午前10時30分・半田消防署阿久比支署・20人(先着順)

■申し込み・問い合わせ先
半田消防署阿久比支署 ☎(47)0119

■申し込み方法など 10月13日(木)までにスポーツ村窓口に着付の申込用紙を提出。

問い合わせ先

卓球協会(竹内さん)
☎090(4266)4769

●町民体育祭ソフトテニス大会を開催

■日時 10月16日(日)午前8時30分～(予備日10月23日(日))

■場所 白沢グランドテニスコート

■対象 一般男女・中学男女

■種目 ダブルス

■料金 一般500円、会員・中学生無料

■申し込み方法など 10月10日(月・祝)までにスポーツ村窓口に着付の申込用紙を提出。

■その他 1人でも参加できます。

問い合わせ先

ソフトテニス連盟(土井さん)
☎(48)1948

お知らせ

Information

9月定例議会を開催

平成28年阿久比町議会第3回定例会を次のとおり開催します。

- 日時 9月7日(水)午前10時から
- ※ 一般質問は9月8日(木)、9日(金)の予定
- 問い合わせ先 議会事務局 ☎(48)1111 (内1401)

「わくわく♪モグモグ教室」を開催

親子で一緒に料理を作って、楽しく食べる「わくわく♪モグモグ教室」を開催します。

先着で託児を利用できます。利用人数には制限があります。ご利用の方は申し込みの際にお伝えください。

- 日時 10月4日(火)午前10時～午後0時30分
- 会場 保健センター(オアシスセンター内)
- 対象 就園前の幼児と保護者
- 講師 食生活改善推進員
- 費用 親子ペアで400円(1人増につき100円追加)
- 持ち物 エプロンと三角巾(子ども用と保護者用)、食器を拭くためのふきん、水筒(水分補給用)、母子健康手帳、筆記用具、子ども用の室内靴(裸足で参加可。必要な方のみ)
- 定員 20組(申し込み多数の場合は抽選)
- 申込期限 9月23日(金)

申し込み・問い合わせ先

健康介護課保健係
☎(48)1111 (内1520・1521)

親子で楽しむ絵本講座を開催

子どもの成長に合わせた絵本の選び方やお薦めの絵本の紹介を行います。

- 日時 9月24日(土)午前10時30分～正午
- 場所 町立図書館学習室A
- 講師 薬師院はるみさん(金城学院大学文学部教授)
- 対象 就学前の子どもの保護者
- 定員 20人(定員を超えた場合は抽選)

編集後記

町内各地で夏祭りや盆踊りが行われ、夜になると心地良い太鼓や盆踊りの音が聞かれます。先日、近所の公園を通りかかると、地区の盆踊りのために刈ったであろう草や枝がブルーシートの上で乾燥させてありました。皆さんは、可燃ごみの処理費用はごみの重さで決まるって知っていましたか。今回のように草やせん定枝などを乾燥させてから、ごみに出してもらえると、町としても処理費用が減るため大変ありがたく、その分のお金を他の分野で皆さんのために使うことができます。もちろん環境にも優しく、「町民良し」「行政良し」「環境良し」の取り組みです。知多半島の中でも可燃ごみの排出量が比較的多い阿久比町。このような取り組みがもっと広がることを期待しています。

合は抽選)

- 申し込み方法など 電話または直接図書館へ申し込んでください。子どもと一緒に参加できます。申込時にお知らせください。
- 申込期限 9月16日(金)

問い合わせ先

町立図書館 ☎(48)6231

●ご寄付ありがとうございます

匿名様

児童手当から町へ60,000円をご寄付いただきました。

子育て支援センター利用者用の乳児用防災頭巾(25個)の購入に活用しました。



ロビーコンサート

～憩いのひとときをあなたに～

ゆったりと音楽を聴き、ほんのり幸せな気分になりませんか？

6回目は、フルート四重奏によるコンサートです。4人は材質の違うフルートでそれぞれリズムカルに音を操り、透明感と深みのある音色を紡ぎ出してくれます。彼女たちの高度で息の合った演奏をぜひお楽しみください。



「住民税1%町民予算枠制度」
わくわくコラボ事業

【第6回】

♪穏やかフルートコンサート♪

- 日時 9月21日(水)午後0時15分～(30分間)
- 場所 庁舎1階ロビー
- 出演者 フルートカルテットCalm(森川みづきさん、新美多恵さん、坂千恵さん、武田詩織さん)



- 曲名 アイネ・クライネ・ナハトムジーク、四季の詩情 ほか
- 問い合わせ先 Mオアシス(代表 近藤由美子) ☎(48)4947

阿久比谷虫供養

誇りある伝統行事

愛知県指定無形民俗文化財「知多の虫供養行事」
今年も横松地区で開催されます。

- 日時 9月22日(木・祝)
午前8時～午後4時
- 場所 横松交差点南西角
(大字横松字清水)

(会場案内図)



〈昨年の会場の様子〉



〈砂山を踏む子ども〉

阿久比谷虫供養スケジュール

- 午前8時 開始
 - 午後1時 百万遍念仏開始
 - 午後3時15分 お雛子(はやし)奉納
 - 午後4時 終了
- ※ 会場は、時間内であれば自由に出入りできますので、お気軽にお越しください。

阿久比谷虫供養の歴史

虫供養は米作りや野菜作りで犠牲になった田畑の虫を供養するために念仏を行ったことが始まりとされています。融通念仏の始祖良忍上人(1072～1132)により広められ、平安時代の終わりごろから阿久比でも行われるようになった民俗信仰行事です。

阿久比谷虫供養は現在、町内13地区が持ち回りで当番を受け持っています。当番地区では前年の虫供養の最後に引き継ぎを受けてから、1年をかけて寒干しや土用干しなど数々の行事を行い、1年の集大成ともいえる虫供養当日を迎えます。

当日は導師の先導で同行衆による念仏が唱和され、道場や小屋にはそれぞれ掛軸がまつられます。また、会場内に建てられた大塔婆の下の砂山を、小さな子どもに踏ませると「かんの虫封じ」になると伝えられています。

永い歴史があり、戦乱に巻き込まれ中断もしましたが、根強くよみがえった虫供養行事は、まさしく町民の誇り得る伝統行事です。この伝統ある民俗行事をぜひ会場でご覧ください。



阿久比町民憲章

- わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。
- ◎ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。
 - ◎歴史と伝統を守り、教養を高めます。
 - ◎スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくります。
 - ◎オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくります。
 - ◎ボランティア活動に、すすんで参加します。



人口と世帯



世帯数	10,309 (+15)	7月中の異動	
人口	28,476人(+54)	出生	34 転入 93
男	14,115人(+35)	死亡	17 転出 56
女	14,361人(+19)		

()は前月との増減数 平成28年8月1日現在



■発行/阿久比町(〒470-2292 愛知県知多郡阿久比町
大字卯坂字殿越50 ☎0569(48)1111)
編集/総務部政策協働課
■阿久比町ホームページ <http://www.town.agui.lg.jp/>
資源を大切に!この用紙は再生紙を使用しています。

目のご不自由な方が広報あぐいを利用できるよう声の広報ボランティア「あいうえお」がCDに音訳録音しています。録音したCDを利用希望者へ無料で送付しています。利用希望者は、下記までご連絡ください。
■問い合わせ先 町社会福祉協議会・ボランティアセンター☎(48)1111(内1523)